

2023年1月26日

株式会社A Tグループの関係会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組を支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取組を評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

株式会社A Tグループは、MUFG ESG 評価において、「進んでいる ESG 経営」との評価を受け、本日、関係会社である株式会社日の出（代表取締役 ^{やまぐち まさし} 山口 真史）を通じて、当行をアレンジャーとする本商品のシンジケートローン契約を締結いたしました。

株式会社A Tグループは、「サステナブル社会の実現を目指し、誰もが豊かに暮らせる未来に向かって、挑戦しつづけていきます」との SDGs 宣言のもと、グループの前身である日の出モータース株式会社の時代から受け継がれている経営理念を継承・発展させながら、モビリティの新しい価値を創造し、これからも社会の持続的発展に貢献すべく、ESG への取組も強化しております。

【高く評価を受けた ESG に関する取組】

- ✓ 環境側面（E）では、グループ全体を通じてエコアクション 21 や ISO14001 を取得しているなど、トップマネジメントの下でA Tグループ環境基本方針を策定し環境課題に関する取組が積極的になされている点が評価されました。特に、CO2 排出量の削減や廃プラスチック回収への取組、環境課題に関する目標や活動、また次年度計画への反映に関して経営層を中心に積極的に取り組まれている点が高く評価されました。
- ✓ 社会側面（S）では、企業行動憲章の中で社会に対する行動指針を定められ、安全衛生委員会の下での労働安全衛生に関するアセスメント、適正な人事評価、地域コミュニティへの配慮、顧客に対して自社の提供する商品の使用時安全性を高めるための取組など様々な分野において、従業員及び顧客、地域社会に対して積極的な活動及びマネジメントを実施されている点が高く評価されました。
- ✓ ガバナンス側面（G）では、代表取締役をメンバーに含むA Tグループリスク管理委員会の下でグループ全社の事業リスクを管理されている点や、A Tグループ企業行動憲章を全従業員に対して周知され利益相反や腐敗の防止といったコンプライアンスを徹底して実施されている点が高く評価されました。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラに

なる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取組を進めています。引き続き、お客さまの ESG の取組を支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上